

空家の特性から生まれる地域での活動を考える

空家マッチング事業事例
「釜利谷ふれあいカフェ」

地域に眠る空き家、その魅力や可能性を一緒に発見してみませんか？

「空家活用ワークショップ」では、空家の特徴や現状を深く理解し、その特性を活かして地域活動の拠点づくりを目指します。空き家は、不便な立地や市街化調整区域にあるなど、利用しづらいと捉えられがちです。しかし、駅から離れた静かな環境、古い趣のある内装、所有者の思い出が残る空間、広い敷地など、地域や物件が持っている特性を反映した可能性がたくさん秘められています。

今回のワークショップでは、実際の物件を教材として取り上げ、現状を理解したうえで、その空間にどのような価値を見出せるのかを考えます。他分野の参加者と意見を交わしながら、新しい拠点の具体的なアイデアを形にしていきましょう。

■ 概要

参加費：無料（申込制）

会場：横浜市市民協働推進センター 協働ラボ

対象：空き家を活用して地域活動をしている方、
地域・社会貢献活動の拠点をつくりたい方

定員：20名

■ プログラム

13:30～ 受付開始

14:00～ オープニング

14:05～ 空家の地域活用のための支援制度（住宅政策課）

14:20～ 事例紹介（全日本不動産協会、協働推進センター）

14:40～ 空家物件の活用法を検討するWS

15:30 終了

15:30～ 個別相談（事前申込制）

お申し込み



お問合せ

韓・村田 Eメール han@shimin-sector.jp、TEL 045-671-4732

主催：横浜市市民協働推進センター 協力：建築局、全日本不動産協会横浜支部